

佐賀県感染症発生動向調査速報

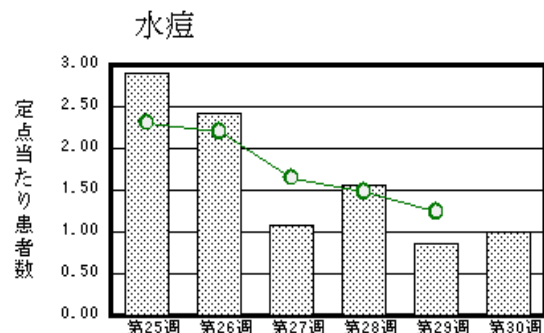
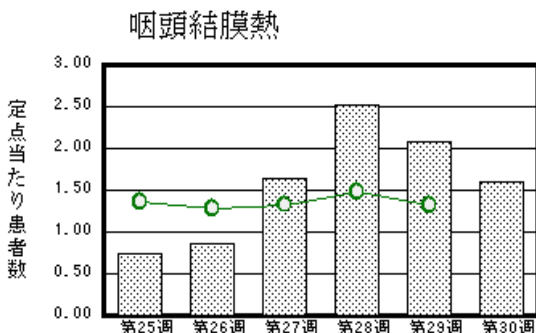
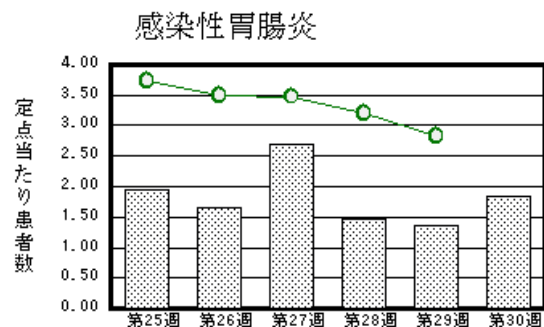
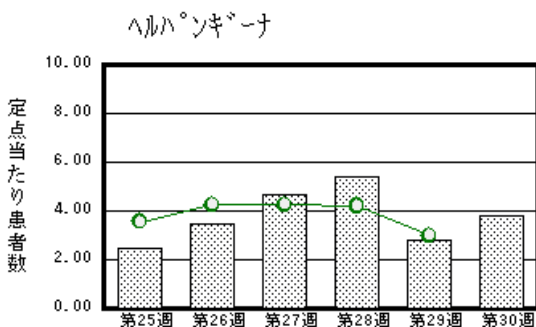
平成18年第30週 平成18年7月24日(月)～平成18年7月30日(日)

<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 ヘルパンギーナ (87名) 突発性発しん (30名) 水痘 (23名) 感染性胃腸炎 (42名) 咽頭結膜熱 (37名)
- 【ヘルパンギーナ】患者報告数は増加しました (65名 87名)。うがい、手洗い等一般的な感染予防に努めましょう。詳しくは国立感染症研究所感染症情報センターの「感染症の話」を御覧ください。
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_08.html
- 【咽頭結膜熱】患者報告数は減少しました (48名 37名)が、過去5年間の同時期と比較して患者報告数が多くなっています。7月10、22日に病原体定点より提供された3検体からアデノウイルス3型が検出されました。うがい、手洗いや水泳後のシャワー励行等、感染予防に努めましょう。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/kakotopics/kakotopics/intouketumaku0605/tem.html>



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。<http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2006年第28週号 (7月10日～7月16日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第28週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向 < 6月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について
・ 注目すべき感染症	< 流行性耳下腺炎 > 2006年では第28週までの累積報告数が、2005年の同時期を大きく上回っている < 腸管出血性大腸菌感染症 > 第28週の報告数は122例で、第28週までの累積報告数は1,144例である
・ 病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2006年 / ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルス2006年 / インフルエンザウイルス2005/06シーズン
・ 速報	麻しんの地域流行 - 千葉県
・ 海外感染症情報	インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況 / 2006年、トルコでクリミア・コンゴ出血熱患者数の増加
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページを御覧ください。<http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

今週の届出はありませんでした。

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 :五類感染症 (週報分)

平成18年第30週 平成18年7月24日 (月)~平成18年7月30日 (日)

定点種別 (定点数)	管轄保健福祉 事務所 病名	佐賀中部	鳥栖	唐津	伊万里	杵藤	計	前週	全国
									(第29週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)							1 0.03	716 0.16
小児科 (23)	RSウイルス感 染症								71 0.02
	咽頭結膜熱	5 0.63	6 2.00	5 1.25	18 6.00	3 0.60	37 1.61	48 2.09	3964 1.32
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	7 0.88	7 2.33	1 0.25	3 1.00	2 0.40	20 0.87	26 1.13	3201 1.06
	感染性胃腸炎	12 1.50	12 4.00	3 0.75	5 1.67	10 2.00	42 1.83	31 1.35	8497 2.82
	水痘	10 1.25	2 0.67	4 1.00	3 1.00	4 0.80	23 1.00	20 0.87	3719 1.24
	手足口病			1 0.25	1 0.33	1 0.20	3 0.13	6 0.26	5414 1.80
	伝染性紅斑	8 1.00	1 0.33	1 0.25			10 0.43	5 0.22	1161 0.39
	突発性発しん	7 0.88	10 3.33	8 2.00		5 1.00	30 1.30	30 1.30	2196 0.73
	百日咳								25 0.01
	風しん								9 0.00
	ヘルパンギーナ	16 2.00	28 9.33	16 4.00	14 4.67	13 2.60	87 3.78	65 2.83	8951 2.98
	麻しん (成人 麻しんを除く)								32 0.01
	流行性耳下腺炎	8 1.00	2 0.67	8 2.00	2 0.67	1 0.20	21 0.91	17 0.74	4850 1.61
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								12 0.02
	流行性角結膜炎			2 2.00			2 0.50	1 0.25	842 1.35
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								10 0.02
	無菌性髄膜炎	1 0.50					1 0.17	1 0.17	43 0.10
	マイコプラズマ肺炎	3 1.50	1 1.00	3 3.00			7 1.17	1 0.17	143 0.32
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								4 0.01
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成18年第30週 平成18年7月24日(月)~平成18年7月30日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん
0~5ヶ月		0~5ヶ月				1							2			0~5ヶ月					1		
6~11ヶ月		6~11ヶ月				1	2	1	1	21			7			6~11ヶ月							
1歳		1歳		7	1	7	2	1		8			35			1歳							
2歳		2歳		5	1	3	9			1			13		4	2歳					1		
3歳		3歳		2	5	9	3		2				11		1	3歳					1		
4歳		4歳		11	3	3	5		3				10		3	4歳					2		
5歳		5歳		6	2	5	1	1	3				3		1	5歳					1		
6歳		6歳		1	2	4							2		3	6歳							
7歳		7歳		3	3	2	1						3		4	7歳							
8歳		8歳		1	1	3			1				1		2	8歳				1			
9歳		9歳		1	1										1	9歳							
10歳~14歳		10歳~14歳				3									1	10歳~14歳							
15歳~19歳		15歳~19歳														15歳~19歳							
20歳~29歳		20歳以上			1	1									1	20歳~29歳					1		
30歳~39歳																30歳~39歳							
40歳~49歳																40歳~49歳							
50歳~59歳																50歳~59歳		1					
60歳~69歳																60歳~69歳							
70歳~79歳																70歳以上		1					
80歳以上																							
合計		合計		37	20	42	23	3	10	30			87		21	合計		2		1	7		
前期計	1	前期計		48	26	31	20	6	5	30			65		17	前期計		1		1	1		
当期間/前		当期間/前	***	0.77	0.77	1.35	1.15	0.5	2	1	***	***	1.34	***	1.24	当期間/前	***	2	***	1	7	***	***
増減数	-1	増減数		-11	-6	11	3	-3	5				22		4	増減数		1			6		

***は前期計が"0"のとき

